

一般社団法人
日本音楽療法学会ニュース発行 一般社団法人日本音楽療法学会
理事長 藤本 禮子 副理事長 猪之良高明 副理事長 二俣 泉

事務局 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-20-8 HK浜松町ビル 6階 TEL 03(5777)6220 FAX 03(5401)0337

インクルーシブ教育システム時代
における音楽療法の役割日本音楽療法学会代議員
根岸 由香

大学生の時、小野田寛郎さんの指導する「サバイバルキャンプ」へ、ボランティアリーダーとして参加した。全国から小学生を募集して、「サバイバル体験」をする趣旨の野外活動だった。教員になるなら小学校と決めていた私は、楽しくためになるアルバイトとして参加した。任された班に、自閉的傾向のAさんがいて、意思の疎通と安全管理に苦労した。「この大自然の中で迷子になったら大変」と緊張の連続だったことを思い出す。ところが、「班の歌決め」の活動で歌を歌い始めると、Aさんは私のそばへ来て口元を見、フレーズを口ずさみながら目を合わせた。その瞬間から、私と手をつなぎ、顔を覗き込み、離れなくなった。感動の体験だった。子どもの頃から「心の友」としてきた音楽が、こんなにも「人と人をつなぐ」「役立つ」ことに感激し、キャンプ中にたくさんの歌と一緒に歌った。音楽の持つ「不思議な力」を実感した「衝撃の出来事」だった。

この体験に感銘を受けた私は、「音楽療法」について学び始め、大学院へ進み、養護学校の教員になった。学校教育の中で「音楽療法」の理論や手法を取り入れた実践がしたいと考え、東京都立の養護学校、東京学芸大学や筑波大学の附属特別支援学校へ勤務して、肢体不自由や知的障害の教育に携わり「共に響き合い心をつなぐ音楽活動」を行っている。

「インクルーシブ教育システム」とは、障害の有無等にかかわらず、すべての子どもを受け入れる教育のことであり、あらゆる立場の子どもが同じ学校や学級に通い、必要に応じた教育支援を受けられることをいう。1994年に、ユネスコの「サラマンカ声明」によって、特別なニーズ教育に関する行動の枠組みが提唱され、2006年に国連総会で採択された「障害者の権利条約」で、教育についての基本原則とされた。日本は、2007年にこの条約に署名をし、2014年に批准している。従って、同じ場で共に学ぶことの追求と、自立と社会参加を見据えた「個別の教育的ニーズ」に、最も的確に応える「多様で柔軟な仕組み」の整備が必要となった。日本では「小・中学校における通常の学級」「通級による指導」「特別支援学級」「特別支援学校」といった、連続性のある「多様な学びの場」を

用意している。

しかし、2022年9月に、日本は国連から「障害者権利条約」についての勧告を受け、「分離された教育の中止」等が求められた。日本の特別支援教育は、障害の種類と程度によって、特別な場を設けて行う「特殊教育」から発展してきている。それ故に、寝たきりの超重度障害児も「訪問教育」や「院内学級」という形で学校教育を受けることができた。私が病院内訪問で3年間担当したBくんは、24時間人工呼吸器を離れられない超重症心身障害児だが、個別指導（マンツーマン）で2年間かけて「マンドリンのトレモロ」「日本抒情歌」「（同じ曲でも）へ長調やト長調の演奏」「キラキラ光り高い音色のベル」などが好きであることが分かった。音楽により、覚醒水準が高まり、音楽の授業のある日の午後の酸素飽和度の値が安定することが分かった。また、過敏性の強い行動障害のあるCくんは、刺激を整理した「少人数の静かな環境」で落ち着いて学ぶことができた。つまり、日本の「特別支援教育」が構築してきた「教育の質の高さ」や「きめ細かい指導・支援」は、世界で評価されている。これらを担保しながら、「インクルーシブ教育システム」の充実に図っていくことが、今後の大きな課題である。

「すべての子どもを受け入れる教育」の充実に目指すためには、普通校における「いじめの防止」や「ストレスの軽減」が必要不可欠であろう。「いじめ防止の教育」は現在「道徳」で行われているが、「理屈での学習」と共に「ストレスの軽減」が重要となる。音楽療法の専門家が、その理論や手法を用いて「ノンバーバルコミュニケーション手段としての音楽」を有効に活用し、児童生徒の心に寄り添い、「発散」「沈静」「リラックス」「情動共有」の場を提供し、学校生活の中で短時間でも「落ち着く」「癒される」時間を作ることや「ストレスコーピング」ができたなら、本当の意味での「インクルーシブ教育システム」が充実する筈と考える。「すべての子ども達」のために、音楽療法士が貢献できる日が来ることを心から願っている。

第23回日本音楽療法学会学術大会（長良川）へのいざない

第23回日本音楽療法学会学術大会
大会長 菅田 文子

第23回日本音楽療法学会学術大会を、2023年9月1日（金）～3日（日）に岐阜にて開催します。

対面とオンデマンドを併用した形を取ります。オンデマンド発表では音楽を流すことはできませんが、対面での口頭発表内では音楽を使っていたことが可能です。その他コンサートや体験型の展示など、現地ならではの企画を準備しています。

第23回学術大会は、「多様性社会における音楽療法 ～いま、そしてこれから～」と題して、様々な音楽療法の共生について皆さんと考える機会としたいと思っています。基調講演として、作曲、演奏活動はもちろん障がいを持つ音楽家との共演経験の豊富な音楽家の大友良英氏をお迎えします。大友氏にはその後のライブでも即興演奏家、新倉壮朗（タケオ）氏と一緒に演奏していただけることになっております。教育講演では伴走型支援について著書のある日本福祉大学学長の原田正樹氏にお話いただきます。また、当事者の声を聴く機会として、ALS 協会長でもある恩田聖敬氏、ご自身が障がいを持つ子の親であり施設経営もされている久保田翠氏にそれぞれお話いただくことにしています。

研修会ではそれぞれ多様な先生方に快くお引き受けいただき、広い学び、深い学びなど受講生のニーズに応えられる講座が揃いました。一部は現地開催となっており、実際に来て体験していただく価値のある内容です。

音楽療法で多様性を語る時、音楽そのものや、セラピストとクライアントの関係性、音楽のプロセスなど、様々な内容が考えられます。一方で多様性を阻むものとして私たちがこれまで当然だと思ってきた慣習や儀礼儀式、文化環境の中で何気なく行ってきたふるまいも問われています。特に音楽は芸術的に間違っていない、正しいものが良いという価値観がまだ残っているように思われます。

多様性について正面から向き合い、様々な価値観を認め合うことが必要であると考えました。

また、音楽療法学会全体の問題として、将来音楽療法士を目指す人を増やしたいという思いもあります。そこで今回の大会では学会員以外の方が参加しやすい仕組みを設けます。学会のポイントは得られませんが、これから音楽療法を学びたい、音楽療法に興味があるという人にお声がけいただけましたら幸いです。

新型コロナウイルスの影響がひと段落ついた今、久しぶりに皆さんにお会いしたいと思っております。近くには温泉もあり、眺めも良い岐阜県にて実行委員一同、心よりお待ちしております。

■ 国家資格推進委員会報告 ■

国家資格推進委員会
委員長 藤本 禮子

学会ニュース第44号以降の国家資格推進委員会の活動について、1. 国家資格化に向けた国会議員等への働きかけ 2. 会員の皆様への国家資格化情報の共有活動 3. 音楽療法の社会的認知を進める活動、に分けて報告します。

1. 国家資格化に向けた国会議員等への働きかけ

2022年

- ・12月23日 9月に参議院法制局から渡された音楽療法に関する質問状への回答を提出しました。

2023年

- ・1月22日 秋野公造参議院議員が福岡市の博多音楽療法コミュニティ LINKS 主催の音楽療法現場を視察されました。理事長・副理事長と事務局長が同席しました。(ホームページに掲載)
- ・1月31日、2月8日
当学会の2名の顧問に、新体制のご挨拶に正副理事長と事務局長が伺いました。学会が取り組んでいる事業、特に音楽療法士の国家資格化についてお話しし、ご尽力をお願いしてまいりました。

2. 国家資格化情報の共有活動

- ・9月2日 第23回日本音楽療法学会学術大会で、以下2つのシンポジウムを企画しています。多くの皆様の参加をお願いいたします。
 - (1) 認知症予防と音楽療法
～音楽療法は疾患の予防にどのように貢献できるか～というテーマで日本認知症予防学会の代表理事および副理事長、秋野公造議員、当学会理事長が語り合います。
 - (2) 「国家資格化は今! ～5～」
音楽療法士の国家資格化にご尽力いただいている2名の国会議員と当学会理事長による、国家資格化についての鼎談を企画しています。

3. 音楽療法の社会的認知を進める活動

- ・音楽療法をより多くの人々に知っていただくことを目的に、第2回 Music Therapy Concert を5月26日に開催しました。これは当学会顧問 鴨下一郎前衆議院議員、当学会湯川れい子理事の企画によるものです。
- ・音楽療法の関係団体との連携を深め、音楽療法への理解・協力を推進する活動を進めています。これまでの高齢者、障害者、児童関連の施設に加えて、当事者団体に対して、音楽療法の概要、当学会のご紹介、国家資格化活動の紹介とご協力願いのため、直接説明に伺っています。
今後、この活動は理事長・副理事長・事務局長に国家資格推進委員が加わり活動を広げてまいります。

以上 学会ニュース第44号以降の国家資格推進委員会の活動を報告しました。

ご覧いただきましたように、音楽療法士の国家資格化は、国会議員、関係省庁はじめ多くの方々の力をお借りして一步一步進めています。その方々が力を注ぎ続けてくださるのはなによりも 会員の皆様の日々の音楽療法セッションとその研究成果が、音楽療法の有用性、専門性、必要性を実証し続けていること、そして、音楽療法を必要とする人々に、質の担保された音楽療法を、いつでもどこにでも届け続ける必要があることを理解・共有して下さっていること、によるものです。

これらによって、音楽療法士の国家資格化成立に向けた動きが支えられ、牽引され続けています。

この動き・この力が揺るぐことなく、今後益々強力であり続けますようどうぞ宜しくお願いいたします。

■ 日本音楽療法学会2023年度 研修・講習会のご案内 ■

研修・講習委員会
委員長 米倉 裕子

新年度になりました。学び続ける民、音楽療法士の皆さまにおかれましては、胸いっぱい新鮮な空気を吸い込みたくなるような、少しずつでもそんな環境、時間、そしてお気持ちになっておられることを願いながら2023年度の研修・講習会のご案内をさせていただきますと思います。引き続き初代理事長日野原重明先生の理念である“keep on going”に則りまして、研修・講習委員メンバー一丸となって、これからも皆さんとご一緒に学びの場を盛り上げていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願い致します。

今回ご案内させていただきます2023年度の研修・講習におきましては、昨年度と同様に「オンライン枠」と「現地対面型枠」をバランス良く実施していく予定です。また、今年度はこの2つのスタイルに加えまして、学び続ける民、音楽療法士の皆さまの「わくわく枠」として日本音楽療法学会研修・講習の歴史上初の試みである「海外とのライブ枠」を実施予定です。気になるその第1回目の「海外とのわくわくライブ枠」は、なんとヨーロッパのドイツ・ベルリンからのライブ講座です。「2023年8月6日！日本の音楽療法士の居る場所全てがベルリンの音楽療法教室になる！」を目標に据えて、受講生の皆さまにわくわくした気分積極的に学んでいただけるように、現在ベルリンとのやりとりを繰り返しながら絶賛準備を進めているところです。ドイツのベルリンとライブで繋がっている受講生の皆さまそれぞれの場所が、ベルリンの音楽療法を学ぶ教室に変化するこの講座にどうぞご期待いただきまして、是非できるだけ多くの学び続ける民の皆さまに受講していただきたいと願っております。

さて、2023年度になりましていよいよ「オンデマンド型 オンライン研修・講習会」第1期（2023年5月15日（月）～6月30日（金））がスタート致します。第1期では、3つの講座を配信予定です。まず最初の講座は、第2回日野原賞を受賞された関根薫先生の記念講演を配信予定です。日野原賞を受賞された関根薫先生の論文は、皆さまの手元に届いている学会誌21巻第1号に記載されていますので、学びを深める為にも是非学会誌を手元に置いて受講されることをお勧め致します。

ここ数年に亘る思いもよらない新型コロナウイルス感染症拡大という状況において激変した私たち音楽療法士の環境においては、音楽療法士としての自分自身を見つめ直す機会にもなったという方も少なくないと思います。今後も何が起こるか予想もつかないこの時代において、セルフケアも音楽療法士の大切なスキルの一つと考えられます。いつでもベストの状態を対象者の皆さまと向き合えるように、この機会に是非セルフコントロールのスキルをみんなで学びましょう。そういったコンセプトに則りまして、第1期の他2つのオンデマンド型 オンライン講座、及び2023年度長良川での学術大会研修・講習会で実施予定の対面型の講座の共通のテーマは、『音楽療法士のセルフケア』と致しました。

まず、第1期の『音楽療法士のセルフケア』に関連したオンデマンド型 オンライン講座ですが、心療内科の専門医でいらっしゃる村林信行先生にはメンタルヘルスについて、また白川ゆう子先生はじめ他3名の講師陣によります、音楽療法士が職場で活躍するための工夫や、自己の感情をポジティブに変えていく術についてご講義いただく2021年度に配信致しました講座を再配信する予定です。そして、2023年度長良川での学術大会研修・講習会におきましては、受講生の皆さまに自分自身の呼吸や声をじっくりと見つめる機会を持っていただけるような内容のワークショップを呼吸法教師の平川明子先生にご指導いただく予定です。


加えまして、2022年度2月に実施いたしました「現地対面型研修4コマ連続受講企画」は、深く学べた機会になったと大変好評だったことから、2023年度も同様のスタイルでの開催を2月に予定しております。詳細が決まりましたら、皆さんにお伝えさせていただきますと思います。どうぞ、ご期待ください。

2023年度、受講生の皆さまには可能であれば「オンデマンド型 オンライン枠」と「ライブ型 オンライン枠」、そして「現地対面型枠」、以上の3つのスタイル全ての研修・講習を経験していただきたいと考えております。研修・講習委員会では、学会員おひとりおひとりの学びの選択の枠が広がっていくことに喜びを感じながら、今後も引き続き学びの計画と実施を推進していきたいと考えております。今年度もよろしくお願い致します。


I 2023年度「オンデマンド型 オンライン研修・講習会」実施計画

第1期：2023年5月15日（月）～2023年6月30日（金）配信予定

□ 2023・1st・00-1・新作

音楽療法研究 ・ 音楽療法臨床全般 ・ 高齢者	
タイトル	第2回日野原賞受賞記念講演：「高齢者への音楽を用いた二重課題～臨床・研究の視点から～」
内容	近年、「二重課題」または「デュアルタスク」「マルチタスク」という言葉をよく目にするようになりました。その多くは認知課題と運動課題を組み合わせたものですが、音楽を組み合わせた場合はどんな働きかけが可能で、どんな効果が見られるのでしょうか。日々の臨床での、そんな想いから行った音楽課題と認知課題を組み合わせた「音楽二重課題」の研究について、臨床・研究の視点からお話ししたいと思います。また、他領域ではどのような二重課題の臨床・研究が行われているのかなどもお話しできればと思います。
講師名	関根 薫 氏
プロフィール	 <p>東京音楽大学ピアノ科卒業後、ピアノ・リトミック講師として音楽教室に勤務。脳性麻痺の生徒との出会いから音楽療法に携わる。これまで障害児施設・精神科施設・高齢者施設で音楽療法を実施。現在は高齢者施設での音楽療法の実施と介護予防をメインに研究を行う。筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程修了。</p>

□ 2023・1st・00-2・新作

音楽療法士セルフケア ・ 音楽療法臨床全般	
タイトル	セラピストのメンタルヘルス
内容	音楽療法士の業務には対人援助に関わるものが多く、感情労働といえる側面がある。同時に専門職であり、知識・技術・倫理面に関して高度な専門性を期待されている。さらにクライアントとその家族、他の専門職と活動する機会も多く、心身にストレスがかかりやすい職業と考えられる。本講習では、日常臨床において専門職が経験するストレスを振り返り、その対策について考えてみる。
講師名	村林 信行 氏
プロフィール	 <p>1986年 東邦大学医学部卒、同年東邦大学心身医学研究室入局 1996年 聖路加国際病院内科（心療内科担当） 1999年 横浜相原病院心療内科医長 2004年 医療法人社団信俊会 心療内科アーツクリニック大崎院長 精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医、日本心身医学会心身医学認定医、昭和音楽大学客員教授、人間総合科学大学非常勤講師、日本音楽療法学会常任理事、日本心身医学会代議員、日本うつ病学会評議員、日本ストレス学会評議員、日本行動医学会評議員 著書 働く人の心療内科（双葉社）、知人がうつになったとき読んでおく本（三輪書店）</p>

□ 2023・1st・00-3・再配信

音楽療法士セルフケア ・ 音楽療法臨床全般	
タイトル	音楽療法士が職場で活躍するためのコミュニケーションの「術」
内容	非常勤としていくつもの現場で実践を積み重ねてこられた木下先生、介護との兼任で高齢者施設での音楽療法を続けてこられた関先生、医療・福祉現場で音楽療法を実践されてきた高橋先生にご登壇いただきます。各講師の体験談から、音楽療法士が職場で活躍するための工夫や、自己の感情をポジティブに変えていく術などを伺っていきます。
講師名	白川 ゆう子 氏 ・ 木下 容子 氏 ・ 関 郁史 氏 ・ 高橋 由貴子 氏
プロフィール	 <p>●白川 ゆう子（しらかわ ゆうこ）司会・まとめ 昭和音楽大学音楽芸術運営学科音楽療法コース卒業 同大学院修士課程音楽芸術運営専攻（音楽療法）修了 日本音楽療法学会認定音楽療法士 現在、昭和音楽大学専任講師 主に、児童領域と高齢者領域での実践を行っている。</p>
	 <p>●木下 容子（きのした ようこ）実践報告1 洗足学園音楽大学音楽教育専攻卒。同大学附属音楽療法士資格取得準備講座修了。東京学芸大学大学院教育学研究科特別支援教育専攻修了。教育学修士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。 精神科病院、高齢者施設、グループホーム、就労継続支援事業所、放課後等デイサービス等の現場で音楽療法を実践。東邦音楽大学准教授。 主な著書：音楽療法を知る（共著・杏林書院）</p>
	 <p>●関 郁史（せき ふみひと）実践報告2 日本音楽療法学会認定音楽療法士。洗足学園音楽大学卒業・東京国際音楽療法専門学院卒業。 中学生の時に宮城まり子氏（ねむの木学園の創立者）の講演に感銘を受け、障害児への音楽教育に興味を持つ。大学卒業後は知的障害者更生施設の支援員を経て、介護老人保健施設にて常勤の音楽療法士として介護との兼務にて「生活の中の音楽」について考えてきた。現在は旭学園（特別支援学校）にて小学部の教諭として音楽を担当している。</p>
	 <p>●高橋 由貴子（たかはし ゆきこ）実践報告3 日本音楽療法学会認定音楽療法士。医療法人大誠会内田病院音楽療法士。3年間非常勤の後、正職員として通算16年勤務。法人内の病院・高齢者施設・保育園等にて音楽療法を行う傍ら、歌声喫茶や大正琴教室の運営に従事。看護大学や介護予防教室の講師、地域のサロン運営のアドバイザーとして参画している。仕事をする上で知っておきたい事を学ぶ中で認知症ケア専門士、保育士、シナプソロジーインストラクターの資格取得。</p>

◆オンライン研修・講習会 視聴料

1本 一律2,000円 申込本数の制限はありません。また、視聴期間内であれば何度でも視聴いただけます。

◆申込み方法

- ・一度作成した「マイページ」は以後も引き続き使用できます。1人につき1マイページを作成してください。
- ・動画の申込み、視聴には「マイページ」の作成が必須です。学会ホームページの「オンライン研修・講習会」からお入りいただき、【マイページの作成・ログインはこちらから】ボタンから会員（非会員も）ご自身で作成ください。

◆受講ポイントについて

オンライン研修・講習会の取得ポイントは動画視聴1本につき、「認定申請：2ポイント」「更新申請：2.5ポイント」

◆オンデマンド視聴に関する遵守事項

いかなる方法においても「配信動画」の録画・録音、また資料等の登用は法律で禁止されております。ご注意ください。

Ⅱ 2023年度「世界と繋がるライブ型 オンライン研修・講習会
－ Link with Music Therapists around the World 1 － 実施計画
集中的に深く学ぶ！ ～連続講座～

オンデマンド配信 2023年6月15日（木）～2023年7月31日（月）

ライブ配信 2023年8月6日（日）15:00～18:15（日本時間） 予定

□ 2023・1st～4th・LOS-1～4

◆ この講座は、4回シリーズで実施の予定です。

音楽療法臨床全般（アセスメント、臨床の省察）	
タイトル	AQR：Assessment of Quality of Relationship（関係の質アセスメント）から学ぶ
内容	<p>対象者の行動をより深く理解するためにはセラピスト自身にも目を向けることは不可欠です。AQR（Assessment of Quality of Relationship）：関係の質アセスメントは、児童だけでなく、様々な対象領域に深く関わる内容です。また、対象者の行動の意味だけでなく、セラピストの関わり方を客観的に問うことができるツールでもあります。本講座ではAQRの開発者であるベルリン芸術大学名誉教授カーリン・シューマツハー先生に、実際の臨床場面の動画も交えて具体的にお話いただきます。前半2講座はオンデマンドで、背景となる理論やAQRの基礎を学びます。後半2講座はドイツとリアルタイムでつないで、質疑も含めたオンラインセミナーを予定しています。</p> <p>※必ず4枠連続で受講してください（後半のみの参加はできません）。</p> <p>オンデマンド配信</p> <p>【1】「関係を築く能力の発達とダニエル・スターンの自己発達コンセプト」</p> <p>【2】「自閉症児との音楽療法から AQR - 関係の質評価法」</p> <p>オンラインライブ配信</p> <p>【3】【4】「セッション録画を基に、関係の質を介入の観点から分析評価する」</p>
講師名	カーリン・シューマツハー 氏
プロフィール	 <p>ウィーン国立音楽大学にて音楽療法を、ザルツブルグのモーツアルテウム音楽大学オルフ研究所にて音楽と動きによる教育法を学ぶ。1974年から1982年までベルリンのシュパンダウ小児／青年／成人精神科病院にて専任音楽療法士。1984年にベルリン芸術大学に音楽療法科を設立、1995-2016年同科教授。その間ベルリンの自閉症児支援センターにて音楽療法を実践。現在同大学とウィーン国立音楽大学にて「AQR- 関係の質アセスメント」の指導と研究を継続、またスーパーバイザーとして国際的に活躍。</p>

◆視聴料

【1】【2】オンデマンド配信 各2,000円 視聴期間内であれば何度でも視聴いただけます。

【3】【4】ライブ配信 5,000円

※ご注意 【3】【4】は、【1】【2】を受講し確認テストに合格された方のみ受講できます。

◆申込み方法

・動画の申込み、視聴には「マイページ」の作成が必須です。学会ホームページの「オンライン研修・講習会」からお入りいただき、【マイページの作成・ログインはこちらから】ボタンから会員（非会員も）ご自身で作成ください。

・一度作成した「マイページ」は以後も引き続き使用できます。1人につき1マイページを作成してください。

◆受講ポイントについて

オンデマンド配信の取得ポイントは動画視聴1本につき、「認定申請：2ポイント」「更新申請：2.5ポイント」

※ライブ配信のポイントについては、決定次第、学会ホームページの「オンライン研修・講習会」ページに掲示いたします。

◆オンデマンド視聴に関する遵守事項


いかなる方法においても「配信動画」の録画・録音、また資料等の登用は法律で禁止されております。ご注意ください。

Ⅲ 2023年度「現地対面型：研修・講習会」

1 2023年9月1日（金）第23回学術大会研修・講習会本部企画（1コマずつ入替制：2コマ研修：1会場）

◆この講座は、呼吸を通して参加者お一人お一人の体に丁寧に働きかける実践的なワークで、1講座20名で、受講生を入れ替えまして2コマ実施予定です。

□ 2023・1st・GT-1～2

音楽療法士セルフケア ・ 音楽療法臨床全般	
タイトル	呼吸と声
内容	例えば足底、お尻底、背中など、普段意識しにくい体に改めて触れ、実感する時、私たちの呼吸は思いがけなく豊かになります。そしてそれは声に反映されます。声は体や呼吸、心、精神の状態を映すものだからです。呼吸法の理念の一端を書きましたが、現場の先生方は現実的な課題を多く抱えておられると思います。短い時間ではありますが、個々の課題もお伺いしながら、進めて行こうと思います。
講師名	平川 明子 氏
プロフィール	 国立音楽大学声楽科卒業。音声障害者の訓練及び日本聾話学校にて聴覚障害児の訓練に携わる。国際ロータリー財団の奨学金を得て呼吸法学校（Atemschule / U. Schwendimann / スイス）に留学。1997年に呼吸教育研究所（Institut für Atemlehre / Maria H. Z. / ドイツ）卒業。同研究所及びAFA / ドイツ呼吸器教育専門家協会による呼吸法教師のDiplomを取得。平成音楽大学非常勤講師。認定ヨーガ療法士（一般社団法人日本ヨーガ療法学会員）。呼吸と声をテーマに、声楽、邦楽、朗読・音声訳、音声障害の方々、身体表現の方々、心身の健康を求めるの方々へのサポートを行っている。

◆申し込み方法など、詳細につきましては、別途学術大会のご案内にてご確認ください。

2 2024年2月実施予定 場所（検討中）（1日4コマ研修：4会場）

◆本企画は、昨年度受講生の皆様のご要望にお応えして好評だった、1人の講師、または1つのテーマで1日4コマ連続受講の企画を今年度も実施予定です。

※ご注意：なお、本研修は、今後のコロナウィルス感染拡大状況により、延期または中止になる場合があります。

◆申し込み方法など、詳細につきましては、決まり次第お知らせする予定です。

◇様々な学びの場で皆さんにお会いできるのを楽しみにしております（研修・講習会委員 一同）。

■ 第17回音楽療法世界大会（WCMT 2023）のご案内 ■

国際交流委員会
委員 上羽(糟谷)由香

3年に1度開催される世界音楽療法連盟による世界音楽療法大会（WCMT: World Congress of Music Therapy）が、いよいよ7月に迫ってまいりました。今回はカナダのバンクーバーで7月24～29日に開催されますが、ハイブリッド開催ですので、日本に居ながらオンラインで参加予定という方も多いのではないのでしょうか。私も、カナダに飛んで世界中の音楽療法仲間と同じ空間を共有し刺激を得たい気持ちは山々ですが、今回は事情によりオンラインで参加する予定です。オンライン参加には2つの選択肢があり、ひとつは各開催日の朝（日本時間の夜中1時半から3時半）のスポットライト・セッションを生配信で視聴できるプラン、もう一つはスポットライト・セッション以外のプログラムのうち発表者がビデオ録画を承諾したもの、および、オンライン上で発表される ePoster（ポスター発表）すべてのオンデマンド配信を視聴できるプランです。私はどちらも申し込みましたが、生配信のほうは、申込者数によっては取り止めになる可能性があるとのことで、その場合は全額返金されるようです。

世界大会の一番の魅力は、世界各国の音楽療法士たちがそれぞれの持ち場でどのような取り組みをされているかを知ることにより、音楽療法で扱う問題の多様さや音楽療法の可能性の幅広さを知ることができることだと思います。演題の発表形態が多様なところも面白く、「PechaKucha（ぺちゃくちゃ）」という各発表者の持ち時間が7分の発表形態や、「Fireside Chat（炉辺談話）」という暖炉や囲炉裏を囲んだ談話のように展開される30分の発表形態もあります。私は今回、発表資料等を大会前にネット上に上げておく e-Poster 枠で発表させていただくのですが、この発表ツールも画期的です！ Learning Toolbox というオンライン上のプラットフォームを利用し、パワーポイントのスライドのみならず、ビデオや YouTube 動画、画像、音声、ウェブサイトなどもアップできます。参加者にとっても閲覧しやすい工夫がなされていて、発表者が設定したキーワードで検索でき、各発表表にウェブリンクと QR コードが生成されるのでアクセスしやすく、チャット機能を使って発表者と交流を図ることもできます！

カナダの音楽療法士の方々が多大な時間と労力をかけてご準備くださっているこの大会を、パソコン前で最大限に楽しみたいと思っています。今回は参加が難しい方も、大会ウェブサイト公開されているプログラムに目を通し、辞書や翻訳無料サイトを活用しながら世界の音楽療法の動向やトレンドを覗いてみるのはいかがでしょうか？おすすめサイトは、単語であれば「アルク英辞郎」、文章であれば「DeepL 翻訳」です。Enjoy！

WCMT 2023大会ウェブサイト：<https://www.wcmt2023.org>

学会事務局からのお知らせ

■ 第24回日本音楽療法学会学術大会開催のお知らせ

- 日程：2024年9月27日（金）、28日（土）、29日（日）
 - 会場：札幌コンベンションセンター
 - 大会長：近藤里美 実行委員長：高田由利子 事務局長：下出理恵子
 - 大会テーマ：未定
- ※大会案内は順次お知らせします。

■ 2023年度 日本音楽療法学会認定資格審査のお知らせ

2023年度の（補）資格審査（筆記試験）および資格審査（面接試験）の申請期間や申請方法等につきましては7～8ページをご覧ください。

■ 2023年度 日本音楽療法学会認定音楽療法士資格更新審査のお知らせ

- 申請受付期間：2023年10月13日（金）～10月27日（金）（最終日必着）
※猶予を申請される方も必ず受付期間に申請してください
- 最終審査結果：2024年2月初旬頃通知
- 対象となっておられる方は事務局よりお送りします申請書類（資格更新規則／同細則）にて申請してください。また、申請書（資格更新規則／同細則）を紛失された方は33ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧くださいの上お取り寄せください。

■ 会費（年会費）納入のお願い

2023年度新年度が始まりました。年会費は早めにお納めいただきますようお願いいたします。

正会員 10,000円 学生会員 6,000円
購読会員 6,000円 賛助会員 50,000円／1口
払込先 郵便振替口座 加入者名：日本音楽療法学会 口座番号：00120-9-657711

■ 入会案内パンフレット取寄せについて

会員の方は、学会の入会案内パンフレットを20部まで無料でご請求いただけます。学会ホームページ上のお問い合わせ欄、もしくはFAX・郵送にて必要部数を明記の上ご請求ください。送料や返信用封筒の送付は不要です。なお、学会ホームページ上、「各種刊行物」ページ内にデータが掲載されておりますので、ご自身でダウンロードし、印刷することも可能です。

■ 学会ホームページからの規則書閲覧について

学会ホームページにて各規則書の抜粋版を閲覧いただくことができます。メニューより「ダウンロード」を選択いただき、規則書ファイル（PDF）をダウンロードしてご覧ください。

■ 学会ホームページ「お問い合わせ」について

学会ホームページよりお問い合わせを受け付けております。学会ホームページや学会ニュースなどの広報媒体や認定規則書等の発行物で確認ができない事項についてご質問がある場合は、学会ホームページメニュー「お問い合わせ」より必要事項を入力して送信してください。回答はご記入いただきましたメールアドレスにメールで送信されます。尚、ご回答までにはお時間を要する場合がございますので、あらかじめご容赦ください。

■ 認定音楽療法士対象 ピティナとの情報共有サービスについて

一般の方々への「音楽療法士資格を保有するピアノ指導者」の情報提供を目的として、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（以下、ピティナ）との間で、学会認定音楽療法士有資格者の情報共有サービスを開始しました。条件を満たす方はピティナ Web

サイト上のピアノ教室紹介ページに「音楽療法士マーク」を無料で表示することができます。ご希望の方は下記に沿ってお申し込みください。

対象者：日本音楽療法学会認定音楽療法士 かつ ピティナ会員である方。

申込方法：会員名、学会とピティナ両方の会員番号を明記の上、「ピティナ ロゴマーク表示希望」として学会事務局宛にメールをお送りください。

メールアドレス jmta.ptna@jmta.jp

注意事項：申し込み先はピティナ事務局ではございません。

申し込み後、ロゴマークの表示までに日数を要しますのでご了承ください。

認定音楽士資格が失効した場合、ロゴマークの表示は中止されます。



■ 「スーパービジョンの手引」のご購入について

スーパービジョン検討特別委員会編纂の「スーパービジョンの手引」が発行されています。(A 4 版60ページ、2015年8月発行) 購入を希望される方は33ページ「各種取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「抄録の書き方」のご購入について

研修・講習委員会編纂による「抄録の書き方(わかりやすい学会発表のために)」が発行されています。(B 5 版76ページ、2006年8月23日発行) 購入を希望される方は33ページ「各種取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 「音楽療法臨床ハンドブック」のご購入について

学術研究委員会編纂による「音楽療法臨床ハンドブック」が発行されています。(A 4 版114ページ、2019年4月発行) 購入を希望される方は33ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧ください。

■ 〈DVD「音楽のちから2012」～音楽療法が拓く可能性～〉のご購入について

15分間の音楽療法の啓発 DVD が発売されています。購入を希望される方は33ページ「各種取り寄せ方法」をご覧ください。(一般の方に視聴していただくのに最適です。)

■ 2022年度認定音楽療法士(補)試験問題解説集の発行について

2023年1月15日(日)に実施された22年度音楽療法士(補)資格審査(筆記試験)の試験問題解説集が2023年6月に発行されます。該当試験受験者の方には事務局からお送りしますが、それ以外で購入を希望される方は33ページ「各種資料取り寄せ方法」をご覧の上お取り寄せください。

■ 事務局への各種お届けについて

● 会員区分変更

現在学生会員の方で教育機関を卒業された方は、正会員への会員区分の変更が必要です。事務局まで文書もしくはホームページ上「お問い合わせ」より、区分変更の届出をお願いします。書式は自由です。正会員から学生会員へ変更を希望される場合は、学生証のコピーを添付の上、同様に事務局へ届け出てください。

※学生会員は認定申請ができないとともに、研究発表、論文発表もできません。ご注意ください。

※認定をお持ちの方、必修講習会を受講中の方は正会員であることが必須のため、学生会員への変更はできません。

● 住所・名義変更

市町村の合併などを含め住所および連絡先に変更がある方、名義を変更される方は、学会ホームページから、もしくは事務局宛てに文書にて変更を届け出てください。書面で提出する場合の書式は自由です。

■ 各種資料取り寄せ方法

各種資料の取り寄せを希望される方は、郵便局にて料金分の定額為替をご購入いただき、会員番号、氏名、希望資料の内容を明記した封筒（例、規則書必修講習会コース 請求）に同封の上、学会事務局までお送りください。その際、送付する為替には「なまえ」など何も記入しないでください。返信用封筒は不要です。

資料		金額（送料込）
認定規則書	必修講習会	500円
	面接試験	500円
	資格更新	500円
認定音楽療法士（補） 問題解説集	2011～22年度単年度版 ※希望年度を明記してください ※2001～2010単年度版は廃版となりました。	各1,000円
	2006～10年度、2011～15年度、2016～2020年度 五ヶ年分合冊版 ※希望年度を明記してください ※2001～2005年度五ヶ年分合冊版は廃版となりました。	各2,000円
その他	抄録の書き方	1,000円
	スーパービジョンの手引き	1,000円
	倫理ハンドブック	500円
	特別プロジェクト研究報告	500円
	音楽療法臨床ハンドブック	2,000円
DVD	音楽の力2012～音楽療法が拓く可能性～	1,000円
学会誌、学術大会要旨集、 学術大会講習会資料集 (2018年度～)	日本音楽療法学会、日本バイオミュージック学会および臨床音楽療法協会の学会誌 バックナンバー、学術大会要旨集（第15回世界音楽療法大会含む）、2018年度以降の 学術大会講習会資料集のバックナンバーは学会事務局では取り扱っておりませんの で下記までお問い合わせください。 アカデミア・ミュージック株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-21 TEL：03-3813-6751 FAX：03-3818-4634	

■ 各種証明書再発行手数料のお知らせ

学会の発行する各種証明書の再発行にはつぎの手数料がかかりますのでご了承ください。手数料分の定額為替（郵便局にて購入）を同封の上、希望の再発行内容を記載し学会事務局へお申し込みください。

- 音楽療法士（補）資格証明書、各種講習会受講証明書、学術大会参加証明書（第6回大会から）など
手数料：500円

- 音楽療法士登録証明書、賞状

手数料：2,000円

※記載の住所や名義の変更も含まれます。

※3×4 cmの顔写真、現在お持ちの登録証明書と賞状を同封し、学会事務局までお送りください。

※登録証明書・賞状ともに再発行する場合も、一方のみを再発行する場合も手数料は一律2,000円です。

※名義変更の場合は、氏名のローマ字表記を必ず明記してください。

※1ヶ月程度お時間がかかりますのでご了承ください。

■ 音楽療法士求人情報提供のお願い

音楽療法士の求人情報を学会ホームページに掲載しています。有償で直接雇用のものに限定しますが、掲載を希望される際は、現在掲載されているページを参考に Word にて求人情報掲載内容を作成し、kanri@jmta.jp へお送りください。内容確認後、掲載可否についてお知らせいたします。掲載期間は3ヶ月です。なお、求人情報ページは情報を提供するだけのもので、就職の斡旋をするものではありません。